

『通り過ぎる』 作：ポチ子

『通り過ぎる』 作：ポチ子

駅前の木に、

桜が咲いた。

私はその横をただ通り過ぎる。

満開の桜は綺麗だ。

でも、

家に帰る途中だし。

立ち止まるほどでもない。

立ち止まる理由でもない。

そう思う。

『通り過ぎる』 作：ポチ子

桜の木が綺麗。

それだけで良かった頃もあった。

それだけで、

立ち止まれる日があった。

立ち止まって、

花を見て。

そんな意味のないことが、

楽しいと思えた時があった。

その日々が、

私の横を通り過ぎる。